

Signature Signat

2017 No 3 栗原市企画部 企画課 定住戦略室

栗原に暮

栗原に暮らす。栗原に生きる。

▶移住者交流会 in Korpokkur

「移住したばかりの時は誰だって不安なことや、困ったこともある もの。そんなことを共有できる場があったら…。」

「同じ栗原に移住してきても、なかなかつながるきっかけがつくれずにいた。今まで点と点だった移住者が少しずつ線になれたら…」 そんなきっかけから、「移住者交流会」の開催に向けたプロジェクトがスタートし、7月28日、キックオフミーティングが開催された。今号では、交流会の模様と併せて「栗原に暮らす。栗原に生きる。」 そんな移住者の皆さんにスポットをあててご紹介します!



【**移住歴 約2年】** JAZZ ピアニスト (若柳在住) 山本さんは奈良県出身で、仙台から栗原へ移住後、地域の有志の方たちと「認知症カフェプロジェクト」を発足。

地域の福祉と音楽のコラボレーションを目標に、今年4月から定期的に認知症カフェを開催されています。

初対面の方も多く、初め少~し硬かった場の雰囲気も、山本さんの奏でる音色で一気に和らぎました。











よしお **小野寺 吉生**さん

【移住歴 約20年5ヵ月】 トマトハウス夢風船 経営(一迫在住) **三** 風船のトマトをご存知でしょうか。

栗原に移住されてから20年超の小野寺吉生さんが手がける濃厚な味わいのトマトです。

今回の交流会に小野寺さんからトマトジュースの差し入れがあり、皆さんでその濃厚な味わいを堪能させていただきました。

小野寺さんのトマトづくりへの想いや、経営することの難しさなどのインタビューは前号(No.2)に掲載していますのでぜひご覧ください。

のぶお **渡辺 信雄**さん せいこ 生子さん

【移住歴 約3年4ヵ月】

移住歴3年超の渡辺ご夫妻からは手作りのブルー ベリーシャーベットの差し入れが♪

ご夫妻は東京都から栗原に移住され、地元の農家が作った野菜、ここでしか採れない木の実などを使い、手作りのシャーベットを販売しています。

もぎたてフルーツ工房 桃や苺・トマトのほか、枝豆や柿・梅など種類も多 土里夢 経営(一迫在住) 数取り揃えています。

小野寺さん、渡辺さんご夫妻のお話を伺う中で、作り手の情熱やお客様に 美味しいものをお届けしたい、そんな真心や優しさが伝わってきました。 そんな作り手の想いを生でお聞きしながら味わえる。なんと贅沢な時間な ことか。



しゅうじ **工藤 修二**さん

【移住歴 約26年7ヵ月】

陶芸家【座主窯】 (花山在住) 花山地区。そこは四季を通じて移ろう色彩が美しい栗原の里山。

その地で、現在東北 でも数少なくなった

穴窯で、釉薬を使わない焼〆陶を作りつづけているのが、工藤修二さんです。

その作品は、<mark>土と炎がつく</mark>りだす1点もの。 まさに芸術<mark>です。</mark>

花山地区内の<mark>蕎麦屋さんや丸勝さん(一迫)</mark> では座主窯の器も楽しむことができますよ。 座主窯のぐい飲みでコーヒーを飲むのが筆 者の至福のひとときなんです♪



みきちか **阿部 幹司**さん

【移住歴 約5年4ヵ月】

(株)花山サンゼット 代表取締役(花山在住) 地域おこし協力 隊員の頼れる 兄貴。それが阿部 幹司さんです。 協力隊活動満了後、 起業。

お仕事の傍ら地域づくり活動においても 未来のリーダーとして活躍されています。 交流会には参加できませんでしたが、奥 様の幸子さんも3児の母とヨガのインス トラクターを両立しており、その生き方 そのものに共感し、花山へ移住されてき た方もいるんです。

ember 2017 Kurihara Newsletter

栗原市がジ<mark>オパークを</mark>目指すきっかけとなったのが平成20年岩手

太古の昔から繰り返されてきた自然災害は、まさに地球の営みそ のものであり、地球は動いているということを実感したり、学べ

ジオパークは地質や地形だけでなく、栗原の歴史や文化、生態系 などを楽しく学べる場であり、その場をコーディネートしている のが長尾さん、中川さんたち地域おこし協力隊の皆さんです。 中川さんは仙台市から、長尾さんにあっては島根県から、このジ オパークの活動に携わりたい!という強い思いから栗原に移って

お二人のスピーチからも、情熱を持ってお仕事に向き合っている

のが、ひしひしと伝わり、これからも栗原にとって必要な人財だ

隊の長尾隼さんと中川理絵さんです。

る「場」がジオパークなのでしょう。



じゅん 長尾 隼さん

移住歴 約2年3ヵ月】

地域おこし協力隊 (築館在住)



中川理絵さん

移住歴 約2年8ヵ月】

地域おこし協力隊(若柳在住)



たかゆき 鍋嶋 貴**之**さん

と感じました。

きました。

· 宮城内陸地震。

【移住歴 約1年2ヵ月】

地域おこし協力隊 (若柳在住)

気持ちぽっちゃり系で愛くるしい笑顔が

れることを表する。

「「大きな」を表する。

「大きな」を表する。

「「大きな」を表する。

「「たきな」を表する。

「「たきな」を表する。

「「たきな」を表する。

「たきな」を表する。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表する。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するるる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表するる。

「たきな」を表す 魅力なのが、北海道出身の鍋嶋貴之さ ん。彼もまた、地域おこし協力隊として、 栗原の産業歴史遺産であるくりはら田園鉄 道(通称:くりでん)を後世に伝承する活

「このくりでんには貴重な資料がたくさんあるし、栗原の誇るべ き歴史資産です。くりでんの価値をもっともっと発信して、いつ か『日本のくりでん』にしていきたい!」

動に取り組んでいます。

そう語る彼の眼差しがとてもキラキラしているのが印象的でした。



あい 鈴木 愛さん 移住歴 約4か月】

会に参加、2月に体験移住として初めて花 山へ。3月には就職先の面接を経て、この 4月に移住されました。

移住して3か月は、やはり車での出勤や慣 れない土地での生活に苦労があったみたい ですが、ようやく少しずつ生活のペースを つかみかけてきたとのこと。

今では交通指導隊員として地域活動にも溶 け込みはじめた様子です。



ゆたか 杉本 豊さん 久美子さん

【移住歴 約1年10ヵ月】 ジャズカフェ コロポックル経営

岡県出身の杉本 豊さんと奥様の 久美子さん。

交流会の企画を相談 させていただくと、 「少しでも栗原の活 性化のお役に立てる

なら。」と快くお店を提供していただきま

ジャズカフェコロポックルは気軽にジャズ に触れ合い寛げるお店、そんなコンセプト でハクチョウの飛来や、ハスの花で有名な 伊豆沼の景色を堪能できるお店です。

交流会が和らいだ雰囲気になったのもコロ ポックルさんのおかげですね。







新たな移住者の不安や悩みの受け皿へ

今回のプロジェクトの仕掛人は、地域おこし協力隊の村山喜子さ ん、佐藤真子さん、そして移住定住支援員の阿部佐知子さん。

(華の●年組らしい。。。)

移住先での「コミュニティ」というものが「移住」の大きな判断 材料だと聞きます。直に聞かなきゃ知り得ない地域の情報を得る にもつながりが必要です。

そういう意味では、この移住者交流会は、つながることの安心感 や程よい距離のコミュニティの場として、新たな移住者の皆さん の不安や悩みの受け皿になるものだと感じました。

それは、参加された皆さんが自分たちのつながりだけでなく、新 たな移<mark>住者をサポー</mark>トする場として、これからどうしたらいいか、 本気で考えてくれているからです。そんな話を直に聞くと、交流 会のこ<mark>の「先」の</mark>展開が楽しみで仕方ありません。

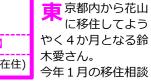


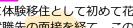




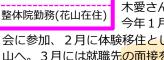








今年1月の移住相談



'ゆるくて、おもしろい" という移住の実験

2015年に福井県鯖江市が行った「ゆるい移住」事業を モデルに、栗原市において実験的に行う「最大半年間 (家賃無料)の体験移住」プロジェクトです。

栗原のことや地方移住に興味がなくてもOK、体験移住 して何をするのか決めなくてもOK、とりあえず気軽に 生活してみてほしい、みんなで一緒におもしろいこと をゆるく模索してみませんか。







| 間中、主催者側から就職・起業や定住を押し付けない。趣味や活動の拠点にしてもい いし、友達や仲間を見つけるためでもいい。

ひたすら物思いにふけてもらったり、無目的に「なんとなく。」でもウエルカム。 期間中の家賃が無料なので、まずは気軽に生活してみて、ゆるく自由に栗原というまちの 生活や空気、人間関係に触れてみてください。





△共同生活を行うプロジェクトの拠点施設

目由すきる移住の拠点!

回のプロジェクトでは、栗原市内にある旧デイサービスセンターの建 物を約半年間、無料で貸し出します。(※ただし、通信光熱水費等は 参加者の実費負担。)

建物は約140㎡。さらに約100㎡の庭もついています。参加者同士で話し 合い、ここで自由に共同生活をしていただきます。

(※女性参加者の寝室は予め独立した居室を用意しています。)

垚 内をどのように使うかは皆さんの自由。参加者決定後、市職員を交えて皆さん と一緒に改装を行う予定です。もちろん、建物の外壁や庭も法律・条例の範囲 内で、自由に改造・アレンジOKですので、楽しくて、おもしろい生活空間をつく っていただけたらと思います。

※期間中の帰省など出入りは自由で、その他、共同生活におけるルールなどは参加 者同士で決めてもらいます。



△昨年実施したワークショップの様子

「おもしろいまち」ってなに?

本興業グループさんとこれまで取り組んできた連携プロジェクトとして実施する もので、よしもとの芸人さんや市職員、地元の高校生・企業・団体など、様々な 市民の皆さんと一緒に「おもしろいまち」とはどんなものなのかを、自由に考え、 活動し、模索していただけたら嬉しいと思っています。

プロジェクトの流れ

▽実施期間

▽対象

information

栗原市外出身者で20歳~概ね40歳までの方 ▽募集人員

10名程度

(応募状況により選考・選抜を行う場合あり)

2017年10月~2017年度末まで(最大で約半年間)

▽期間中の居住

栗原市が管理する施設での共同生活 (家賃無料。ただし、通信光熱水費等は参加者負担)

▽事前合宿(参加必須)

2017年9月17日(日)~18日(月祝)

栗原市内の宿泊施設にて

※移住後のルールを議論したり、居住施設の内見、市内 の紹介などを行います。

2017年8月末を第1次締切とします。

申込みは、専用ウェブサイト「申込みフォーム」から。 http://yuruomo-iju.jp

▽その他

事業説明会だけの参加も可。お気軽にお越しください。 プロジェクトに関する詳細については専用ウェブサイト をご覧ください。

▽問い合わせ先

栗原市企画部 定住戦略室 (Tel 0228-22-1125)

事業説明会

8月19日(土) 仙台 8月21日(月) 東京

事前合宿【参加必須】

9月17日(日)~18日(月祝) 【1泊2日@栗原市】

※交通費は各自負担となります。

体験移住

10月~2017年度末 【約半年間】

体験移住プロジェクト開始後

【必須参加】月1回の定例ワークショップ(生活状況確認のために行うもの。) 【自由参加】市職員、市民・団体等の交流会や各種イベント

よしもと芸人・地元高校生たちとのワークショップ



住居の改装、新しい仕事の模索、市民や団体とのコラボ レーションなど、参加者のご要望に可能なかぎり柔軟に 対応します。



栗原市移住定住 ガイドキャラクター ペナルティ・ワッキー氏



若新 雄純 氏



プロジェクト・プロデューサー 栗原市企画部定住戦略室

二階堂 旭

かがやく女性たちが験は

いさなう田舎の時間

宮城県栗原市花山地区。

ここには、雄大な花山湖のある大自然とともに暮らす"かがやく"女性たちがいる。

彼女たちは、とてもアクティブでありながら、しなや かでたくましい。

そんな女性たちと、いなか暮らしを体験してみませんか。





information

募集 要項

▽対象

将来的に地方への移住を検討されている都市圏在住の女性

▽募集定員

5名程度(応募状況により抽選を行う場合あり)

▽実施期間

2017年10月23日(月)~30日(月)まで

▽滞在中の居住

栗原市が管理する移住体験住宅をシェアハウス として共同生活していただきます。

▽参加料等

- ・宿泊料は無料。ただし寝具リース料、食費は 参加者負担となります。
- ・滞在中における体験プログラムは有料となります。

△滞在する移住体験住宅 (花山向程野地区)



2017年9月末を第1次締切とします。

▽その他

- ※女性限定としたイベントですが、婚活事業に類するものではありません。
- ※詳細は花山地区小さな拠点づくり推進協議会フェイスブックページを ご覧ください。

▽申込み・問い合わせ先

花山地区小さな拠点づくり推進協議会事務局(TeL0228-43-5111) 栗原市企画部 定住戦略室(TeL 0228-22-1125)



「花山には昔ながらの古き良き文化が受け継がれてきて

本事業の実行委員長である千葉優力

いる。それをぜひ感じてほしい」と話す。

「花山のゆるやかな時間の流れを感じてほしい。 体験プログラムって言っても、日常の花山の生活を切り 取るだけ。だって、着飾っておもてなししても、お互い 疲れるだけでしょ。」と笑う。

移相談住

くりはら の され

"暮らし"&"しごと"情報お届けします!!

次の相談会に栗原市も出展します。暮らし方だけでなく、栗原での働き方についてご提案できればと考えていますので、お気軽にお越しください。

第3回 みやぎ移住フェア

日時:8月27日(<mark>日曜日</mark>) 11:30~14:30

会場:ふるさと回帰支援 センター

ふるさと回帰フェア2017

日時: 9月10日(日曜日) 10:00~16:30

会場:東京国際フォーラム ホール E















びっくりはら

ままぱれ